

科目ナンバー	C5203	要件	保育必修	授業形態	演習	対象学生	Ⅱ A
授業科目	保育表現技術(造形表現)						
実施期	前期	単位数	1単位	授業担当者	総田久二子		
【科目の概要】 乳幼児の発達を踏まえ、喜びや楽しさが味わえるよう実践を通して色々な用具・素材に親しみながら、知識・技術を身に付けるとともに指導力を学ぶ。また、保育者として美的な環境を整えるために豊かな感性を養う。							
【この科目を通して獲得を目指す力】							【関連DP】
ア	多様な造形表現に関する幅広い知識を身に付けている。						1-C
イ	必要な美的感覚をもち、造形面での自己表現ができる。						2-D
ウ	乳幼児の発達を踏まえて、子どもが主体的に造形活動に取り組める環境を工夫し、適切な指導・援助ができる。						3-C
エ	子どもの生活や遊びと、造形活動との関わりを考え、保育に生かす意欲をもっている。						4-C
【授業の内容】					【実施日】	【授業時間外学習の内容】	
1	乳幼児にとって造形表現とは何かを学ぶ。				月 日	シラバスを読んでおく。	
2	乳幼児に適した環境を作る（貼り絵・動物）				月 日	資料を各自用意するこ。	
3	身近な素材で造形表現をする。 （1）新聞紙を使って遊ぶ。 指導案作成				月 日	教科書P65～67を読んでおく。（0.5時間）	
4	（2）自然物を使って遊ぶ物を作る。				月 日	自然物を集めておく。	
5	（3）空き箱や空き容器を使って遊ぶ物を作る。				月 日	空き箱を集めておく。	
6	（4）ペットボトルを使って遊ぶ物を作る。				月 日	ペットボトルを集めておく。	
7	水彩絵の具を使った技法遊びを経験する。 （1）にじみ絵				月 日	教科書P18を読んでおく。	
8	（2）スタンプング・ローリング・獲得を目指す力の確認をする。				月 日	教科書P21・23を読んでおく。（0.5時間）	
9	（3）吹き絵・はじき絵（バチック）。				月 日	教科書P19・55を読んでおく。（0.5時間）	
10	（4）フィンガ-ペインティング				月 日	教科書P24を読んでおく。（0.5時間）	
11	（5）デカルコマニー・フロッタージュ・作品について前で説明をする。				月 日	教科書P22を読んでおく。（0.5時間）	
12	乳幼児に適した環境をつくる。（貼り絵・人物）				月 日	資料を各自用意すること。	
13	クレパスを使った技法・遊びを経験する。（1）スクラッチ				月 日	グループで共通理解をしておく。	
14	様々な材料を使って協同製作をする。				月 日	製作を仕上げる。	
15	様々な材料を使って協同製作をする。				月 日	製作を仕上げる。	
16	まとめ				月 日		
【教科書・テキスト】 「新造形表現」 実技編 三晃書房 著者 花篤實・岡田惣吾				【成績評価の方法】 造形作品の工夫・提出70% 受講態度30%			
【参考書・教材】 適宜紹介							
【履修要件及び履修上の注意事項】 演習に必要な用具（絵の具、ハサミ、接着剤、折り紙）は各自準備すること。 欠席した場合は、その内容を確認しておくこと。							
【履修上の遵守事項】 造形室の備品等は大切にし、美化に努めること。 提出物は、期限厳守のこと。15分以上の遅刻は欠席とみなす。遅刻3回で欠席1回とみなす。							
【連絡先・オフィスアワー】 連絡先：N15 総田研究室							
オフィスアワー：							

〈チェックシート〉					
指標		基準	レベル1	レベル2	レベル3
ア	保育者に必要な造形表現の基礎的な知識		表現方法の基礎的なことを知っている。	様々な素材や方法を用いて、表現活動を行うことができる。	素材・用具の特徴や使い方を理解し意欲的に取り組んでいる。
イ①	保育者として表現できる感性		生活環境など身の回りを美しくしようとする。	自身の生活の場や、教室、公共の場など、自ら美しくすることができる。	自分の生活環境や、生活の場を美しくしようと様々な方法を知っている。
イ②	乳幼児にわかりやすく指導・援助できる技能		乳幼児の発達の姿から、色々な造形表現の方法を知っている。	乳幼児の発達の姿から、造形表現の方法などについて自分の言葉で述べるができる。	乳幼児の発達と造形活動の関連を理解し、指導・援助のしやすい環境構成を理解している。
ウ	乳幼児の発達を踏まえ具体例を挙げる事がdekiる技術		乳幼児の成長の姿と、造形表現のかかわりについて知っている。	乳幼児の発達と造形活動の関わりを自分の言葉で述べる事ができる。	乳幼児の発達に即した様々な造形活動を具体例を挙げて述べる事ができる。
エ	乳幼児の生活や姿から、生活の中に生かすことができる知識		乳幼児に経験させたい造形表現の内容・方法を知っている。	乳幼児の発達の姿に即した表現活動の生かせ方を知っている。	乳幼児の発達に即した様々な表現活動の内容・方法を述べる事ができる。

この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等